

# 朝礼発表

今日は私が携わっている数値演算という機能を紹介します。数値演算は画像処理が絡まないユーティリティの機能ですが、今後もvsで機能を考える際に考慮して欲しい機能になりますので今日紹介しておきます。

2025年9月8日

23:4

数値演算は名前の通りビジョンダッシュボードと同様の計算式を実行するツールで、ビジョンダッシュボードではやりにくかったところを補完する機能になります。



ビジョンダッシュボードとの大きな違いとして、下記3つがあります。

☐ 繰り返し処理がかけること。

□前回の値が引き継げること

□履歴で結果を残せること

一つ目の繰り返しがかけることについては、例えば、このように1000点を超えるプロブの検出点を使ってなんらかの処理をやりたいとき、ダッシュボードでは、このように1000個以上のセルを用意して計算する必要があり、セルの消費量が増えます。セルの使用量がおおいと、ダッシュボードが複雑化して設定が複雑化したり、vsでの編集作業が重くなるという問題があります。それを数値演算を使うと下　このようにループでかけるようになります。



前回値が引き継げるというのは、ダッシュボード基本的に計測の都度新しい値に上書きされます。なのでたとえば、3回連続で あるツールがNGになったら、検査自体をngにしたい、というような過去の結果を使うようなロジックがかけません。そこを数値演算ではandが過去の値を保持しているので、このようにロジックがかけます。

三つ目は、例えば、カスタムスクリーンで履歴ダッシュボードの値は履歴蓄積されていないのでその時の結果が表示できませんが、数値演算では他のツールと同様に残せるので、このように結果を表示できます。





最後に、v1ではできてない数値演算に関わる課題としてv1では実現できてない繰り返しツールを紹介しておきます。先ほどこのようにブロボのラベル結果を繰り返しで数値演算することを紹介しましたが、用途として、その計算結果を別のツールの領域や位置補正として計測したい、ということがよくあります。このような場合、ラベルの数だけ計測ツールを置くのは現実的ではないので、数値演算で計算で求めた結果を使うツールをひとつ置いてラベルの数だけ繰り返し実行する、ということをやする必要があります。これがcozにもある繰り返しツールというものになり、v1ではできず、v2以降で実現する機能になります。

はい、以上です。